

こども浮世絵しんぶん

藤沢市
藤澤
浮世絵館

2024年
9月
第25号

江戸時代、浮世絵師の中には歌川広重と二代歌川広重のように同じ名前の人たちがいたよ。これは、同じ名前をつけるのが流行ったからじゃなくて、弟子が師匠の名前を受け継いでいるからなんだ。有名な師匠や祖先、親の名前を受け継ぐことを襲名って言うよ。現在でも歌舞伎役者が、有名な役者の名前を代々引き継いでいるんだ。

今回はそんな襲名絵師の一人、二代歌川広重を紹介するよ！ 二代広重は元々、歌川重宣って名前だったんだ。初代広重が亡くなった

あと、重宣は師匠の娘と結婚して、安政六年（一八五九）に跡を継いで「二代歌川広重」になったよ。江戸時代の終わりから明治の初めまで活躍した絵師なんだ。二代広重は師匠の初代広重と同じように、風景の浮世絵を中心にいろんな浮世絵を描いたんだ。その中には師匠の絵をモデルにした作品もあるよ。

実際に、初代広重の絵【図1】とそれをモデルにした二代広重の絵【図2】を比べて、同じところと違うところを探してみよう！

いくつ見つけられるかな？

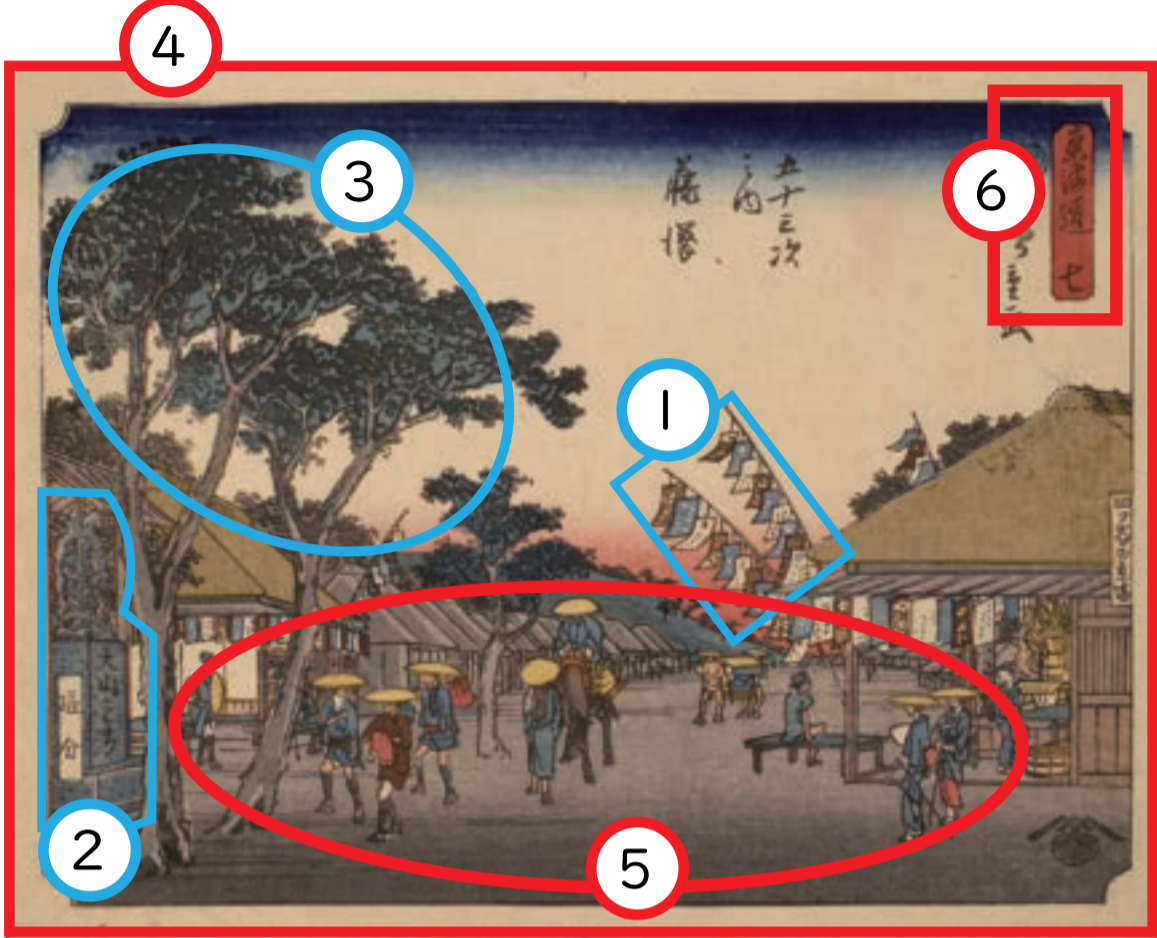
初代広重と二代広重の絵をくらべてみよう！

ぼくが見つけた同じところと違うところは次のページにあるよ！



▲【図1】歌川広重「東海道 七 五十三次之内 藤沢（四ッ谷の立場）」
 ◀【図2】二代歌川広重（立祥）「東海道五拾三駅 藤沢 追分道」

おなじところとちがうところ



▲【図1】歌川広重「東海道 七 五十三次之内 藤沢 (四ッ谷の立場)」
 ◀【図2】二代歌川広重 (立祥)「東海道五拾三駅 藤沢 追分道」

おなじところ

みんなはどれだけ見つけられたかな? 僕が見つけた「同じところ」と「違うところ」を教えるね! 同じところは水色、違うところは赤色でしるしをつけたよ。

①まねき
 ②道標
 ③木の場所

「まねき」がかざられているよ。
 不動明王像が乗っている石の道標(みちしるべ)があるよ。
 どちらの図も道標の近くに大きく二本の木が描かれているよ。

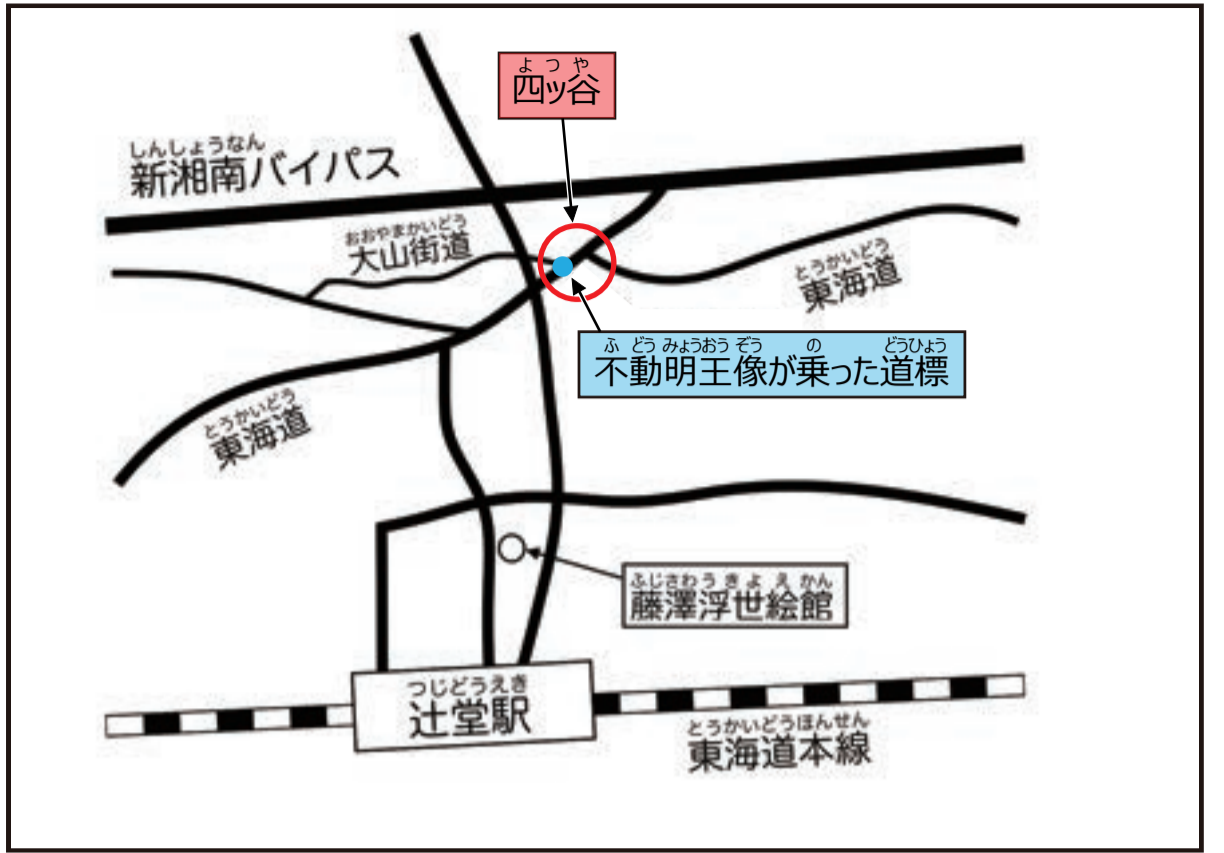
ちがうところ



僕が見つけた「違うところ」は、黄色の枠の中に縦向きで描かれているね。なんだかオシャレなデザインだね。

④絵の描かれた枠
 ⑤描かれている人
 ⑥絵のタイトル

【図1】はシンプルな枠に横向きで描かれているけど、【図2】は黄色の枠の中に縦向きで描かれているね。なんだかオシャレなデザインだね。
 似ている人たちが描かれているけど、場所や人数とか細かいところが違うよ。
 タイトルそのものも違うけど、書いてある場所も違うよ。



▲四ツ谷の地図だよ！ 藤澤浮世絵館に近い場所にあるんだ。

▲【図1】と【図2】に描かれた不動明王像が乗った道標だよ。今も四ツ谷の立場だった場所にあるよ。(住所：〒251-0057 藤沢市城南1丁目1)

かいさいちゅう
開催中！

にだいめしゅうごう
二代目集合

しゅうめいえし
襲名絵師たちの物語

にだいうたまる
二代歌麿

にだいとよくに
二代豊国

にだいひろしげ
二代広重

にだいくにさだ
二代国貞

2024年9月14日(土)～11月4日(月・休)



ほかの二代目も
よろしくね！

今回紹介した絵は、現在の藤沢市四ツ谷にあった立場（東海道の宿場と宿場の間にある休憩所）を描いているよ。違うところもあるけれど、見比べてみるとそっくりだね！

二枚の絵が似ているのは、ただのまねっこじゃないんだ。二代ひろしげが初代広重に絵の描き方を習っていたことと、版元から初代ひろしげが広重と同じような風景を描くように求められたことが理由だと考えられるよ。二代広重は、初代広重の浮世絵をモデルにしながらオリジナリティが感じられる作品を、ほかにもたくさん描いているよ。

師匠と比べてそんなに知られていない二代広重だけど、少しでも興味を持ってもらえるとうれしいな。